

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	やまびこ学級1組 外国語活動(6月) オリジナル単元 色や形で遊ぼう 4h扱
⑥特別支援学級の授業づくり	高知県高知市立義務教育学校土佐山学舎 外国語担当 川越 美和

効果的な活動を組み合わせる！(教科等を合わせた学習とつなげた単元づくり)

本校では、特別支援学級やまびこ1組の児童が週1時間学級単独で外国語活動の授業を行っています。4年生までの児童は、交流学級での外国語活動にも参加しています。児童は、それぞれの時間をとても楽しみにしていて、朝一番に私に出会うと「今日は外国語、よろしくお願いします」と必ず笑顔で声をかけてくれます。「次はこんな授業をしたい!」とアイデアをくれることもあります。

① 児童が安心して学習できるルーティンづくり

授業の前半は、できるだけ同じ流れで学習できるように、基本のルーティンを決めました。

あいさつ→How are you?→やまびこエクササイズ→歌→本時の目標の確認

*やまびこエクササイズというのは、体育で行っているトランポリンを使って、ジャンプの数をカウントしたり、ステップの方向(前後・左右)などを英語で言ったりしながら運動する時間です。指導者も児童に動きを教えてもらいながら、一緒に楽しく行っています。

② 生活単元学習とつなげた単元づくり

外国語活動と児童の身の回りにあるものや他の学習活動とつなげることで、できるだけ無理のない形で学習内容の定着を図ることができるよう、主に生活単元学習とつなげることにしました。

目標は「色や数、形の言い方に慣れ親しみ、自分の好きな色や形を伝えようとする」ことです。



同じ素材を使って、いろいろな学習活動をしたことで、児童は自信を持って、無理なく生き生きと参加し、「楽しい」「またやりたい」「これはこれと同じだ」とつぶやいたり、発見したりしていました。色や形、数の言い方にも慣れ親しむことができました。



指導助言・アドバイスコナー

私は、特別支援学級での外国語活動の実践をとても大切にしています。特別支援学級の児童により様々な体験をしてほしいこと、言葉を使う体験をたくさんしてほしいからです。日本語以外の言葉に触れ、それを使う体験は、彼らが言葉をメタ認知するきっかけになると思っています。また、教師には、子供の「ことば」の習得の様子がよく分かるとともに、特性を持つ子供たちの指導には、より様々な工夫が必要となるため、実践することも、その実践を参観させていただくことも、とても勉強になります。本実践では、他教科等との連携、授業の流れを統一するなどの工夫がなされていますが、これらの工夫は、特別支援学級以外でも大切にしたいことですね。

(文部科学省 視学官 直山木綿子)